

こおろぎ

発行日 2010年3月1日 **No.206**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
発行者 杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

有識者の考え

バンクーバー・オリンピック、とても素晴しかったですね！
私は、今回のオリンピックは、私たちに大きな問題を提起してくれたと思っています。それは、あの服装問題のことです。

もしかしたら知らない方がいるかもしれないので、その問題を簡単に説明すると次のようになります。

オリンピックに向かう日本選手団のなかに、日本チームのユニフォームを極端に着崩した青年がいました。その映像がテレビに流れたため、怒りの声が上がりました。そうした苦情に圧される形で日本オリンピック委員会（JOC）は、本人と監督による謝罪会見を開きました。

ところが、その謝罪会見の席で服装を指摘された青年が、自分の言葉で謝意を伝えず、監督から言われた言葉を「反省してま〜す」と言ったり、記者からの質問に対して「チェッ、うるせいな」と言ってしまったのです。

その態度の悪さの責任を感じた全国スキー連盟は、JOCに対して出場辞退を申し出たのですが、橋本聖子団長が本人と面談し、「スタートラインに立たずに終わるのは、逆に無責任」という理屈で出場を決めたというものです。

この決定に対して、賛否両論ありましたが、有識者といわれるテレビのコメンテーターの中には、「スポーツ選手は、スポーツで結果を出すことで責任を取ればいい」という意見を言っていたのです。

有識者と呼ばれる人がしたり顔でこうした意見を言うと、「そうだ、そうだ」と思ってしまう人がいるかもしれませんが、私はこうした意見を恐ろしく思います。

これは明らかな論理のすり替えです。服装や態度の問題と、スポーツの結果とは、何の因果関係もないのです。

もしコメンテーターの方の考え方が適切だとすると、イジメをした子どもが、勉強で一番になったらイジメの責任をとったことになります。しかし、勉強で一番を取って、褒められるのはイジメをした子で、イジメられた子の気持ちは少しも救われてはいないのです。

コメンテーターの考え方が広がったら、彼のような態度をとる人が増えてしまうのではないのでしょうか？

オリンピックは、個人で出場している大会とは異なり、国の代表として、国民に支えられて参加する大会です。ですから、もし「俺は、俺だから」という考えを主張するのなら、出場しなければよいだけのことです。

英語では、人格の立派な人を He is good sports. と言います。ただスポーツの成績が良くても、good sports ではないのです。

きっと彼は、多くの方に支えられて出場していると思っています。もしそう思っていたらあんな態度はとらないはず。最近では彼以外にも「俺は、俺」という考え方の人が増えていますが、そうした人は、他の人を不快させるだけでなく、自分を支えてくれる人に気づかない不幸な人なのです。

どんな選手もいつかは結果が出なくなるときがやってきます。そうなったとき、結果を楯に生きていた人は、何を支えに生きていくのでしょうか？ 私は、いつか生きにくくなると思うのです。彼にそうしたことを伝えてあげてほしいと思います。

服装や態度の問題は、服装や態度を正して、自分の言葉できちんと謝意を示すことが責任をとることになるのではないのでしょうか？

結果さえ出せばいいという考え方が広がると、結果の出せる人と、結果の出せない人とで権利に差が生じる恐れがありますし、平気で「悔しかったら、お前も結果を出せばいいじゃないか！」と言う人が増える気がします。それは決して良い社会ではないと思うのです。

10万羽の折鶴

2月14日に、南アルプス市の高遠翼君（17歳）が永眠されました。

彼は、小学校に上がる前に癌が見つかり、右足を膝の上から切断しました。それを機に自分のような子どもを救う医者になろうと志して、一生懸命に勉強していましたが、中学2年のときに脳腫瘍が発見され、左の脳を大きく摘出しました。それ以降、テンカンのような発作が出るようになってしまいましたが、彼の努力は少しも揺るぎませんでした。入院中の病院でも、朝、目が覚めるとすぐに勉強を始めるのです。

健康な子と同じように勉強をしても、彼は脳を手術してしまっているのが覚えることができません。人の何倍も勉強しても、なかなか記憶できないのです。それでも自分と同じような病気の子どもを助ける医者になるという目標を追い続けました。

彼は、バイオリンが上手でした。彼のお父さんが4年半かけて作ったバイオリンを、掃除の会や、ハガキの会などで何度も披露してくれました。彼の最後の演奏は、昨年8月の静岡掃除に学ぶ会の年次大会でしたが、体調が悪く、弦もしっかりと押さえられなくなっていました。最期まで演奏してくれました。彼が一生懸命に弾いてくれる姿が今も思い出されます。

彼は私たちが主催する「がんの子供を守る会」の年末募金や、50kmウォークにも参加してくれました。ほとんどの人は、早くゴールしようと先を急ぐのですが、道に落ちているゴミを拾いながら、一歩、一歩、人生を味わうように彼は歩いていました。

義足と足が擦れてしまって途中棄権することになりましたが、彼の歩いた後は、彼の生きたあとのようにきれいになっていました。

彼は、特別に優秀でもなかったし、金メダリストでもありませんでした。しかし、彼のところにはたった5日間で10万羽を超える折鶴が集まりました。2月15日の私のブログ「杉井のひとこと」を見ていただけたら、彼の人生がどんなものだったのか、鶴の美しさからおわかりいただけると思います。

これこそが、「生き方の力」だと思うのです。

翼君は、ないものねだりをするのではなく、あるものを大切に使用して、目的に向け、充実した日々を綴っていったと思います。

「医者になる」という目標は達せられませんでした。十分に人生を充実させ、その生き方で多くの人を救ったと思うのです。

皆さんは、精一杯、生きていますでしょうか？

翼君に恥ずかしくない今日を綴っていきましょう！

今月の活動情報 活動を早く知りたい方は、ホームページで

- 3/3(水) 横浜建設的な生き方を学ぶ会 (横浜地域職業訓練センター)
- 3/3(水) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (株式会社東西)
- 3/9(火) 埼玉建設的な生き方を学ぶ会 (ウィルさいたま)
- 3/10(水) 「事業で成功する人 しない人」 (東毛法人会)
- 3/11(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (原地区センター)
- 3/11(木) 沼津経営塾 (沼津市民文化センター)
- 3/12(金) 「夢・目標を叶えるコツ」 (静岡県西部農林事務所)
- 3/12(金) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)
- 3/13(土) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 3/13~14 静岡経営塾 (オリジン)
- 3/20~22 緊急! 戦略立案会議 (オリジン山中湖研修所)
- 3/27~28 CLセミナー (オリジン山中湖研修所)
- 3/27(土) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 3/28(日) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会